

コロナ禍の教訓と未来を考える

—3年余の取り組みから—

新型コロナが発生して4年が過ぎた。瞬く間に世界に広がり、日本も3000万人強が感染、7万人を超える人々が死亡した。このパンデミックの広がりには日本はどう対応したのか。その2020年から厚生労働省医政局長、内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室長として、コロナ対応にあたった迫井正深・厚生労働省医務技監に、その取り組みを聞く。同時にポストコロナの日本の医療、社会の在り方を考えたい。

日時： **2024年1月13日(土)**

15:30~17:00(質疑・意見交換を含む)

講師： **迫井 正深 氏** 厚生労働省医務技監
内閣感染症危機管理対策官

1989年東大医学部卒。東大病院、虎の門病院などで外科臨床の後、92年厚生省入省。老健局老健課長、医政局地域医療計画課長、保険局医療課長などを歴任。2020年から医政局長、内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室長を経て、2023年7月に厚生労働省医務技監。9月内閣感染症危機管理統括庁理対策官を兼務。

司会： 山路 憲夫 氏 小平学・まちづくり研究所 所長(当会副会長)

会場： プレスセンタービル9階 大会議室 日本記者クラブ
東京都千代田区内幸町2-2-1

会費： 会員 1,000円 非会員 2,000円 (先着30名)

※当日入会も受け付けております。(入会金2,000円・年会費3,000円)

参加申込： 1月10日(水)までにFAXまたはメールにてお申し込み下さい。

主催： NPO法人福祉フォーラム・ジャパン

東京都渋谷区代々木4-30-3 新宿ミッドウエストビル

(NPO法人日本アビリティーズ協会内)

電話：03-5388-7260

FAX：03-5388-7210

E-mail：ffjinfo@ff-japan.org

HP：https://www.ff-japan.org/

●2024年1月13日「コロナ禍の教訓と未来を考えるー3年余の取り組みからー」

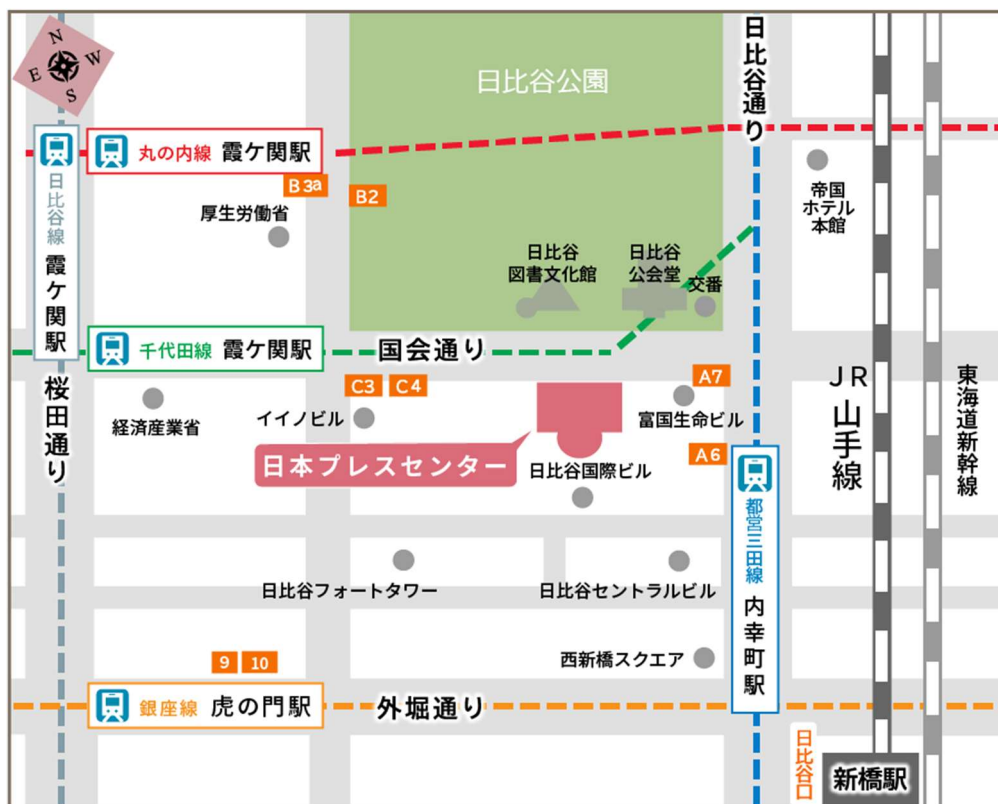
【参加申込書】 ご記入の上、メールまたはFAXにて送信ください

(E-mail) ffjinfo@ff-japan.org / FAX:03-5388-7210

会員No.		<input type="checkbox"/> 入会希望
フリガナ		
お名前		

所属		
役職		
住所	〒	
	TEL :	FAX :
E-mail (必須)		

- 内容および出演者は一部変更になる場合がございます。
- ご記入いただいた個人情報は、受付・当フォーラム関連の開催のご案内以外の目的には使用いたしません。なお 取得・保有した個人情報には適切な保護措置を講じます。



千代田線・日比谷線「霞ヶ関駅」	C-4 (B1 直結) 出口より徒歩2分
丸の内線「霞ヶ関駅」	B-2 出口より徒歩5分
都営三田線「内幸町駅」	A-6 (B2 直結)、A-7 出口より徒歩2分
JR「新橋駅」	日比谷口(S L 広場側)より徒歩10分
※ 駐車場はございません	